

資源集団回収移行スケジュールについて（事務局案）

◆ゴールの設定

平成 34 年度末までに各清掃センターにモデル地区を設定して実証実験を行い、結果をまとめるとめる。

※ 平成 34 年度までの全域移行は、現行での資源集団回収団体の普及割合からすると現実的でなく、また、モデル地区での実証も 4 年程度の実証期間が必要と思われる。

仮に 3 年実証、その後 100% 移行への流れとしても、1～2 年で 100% 移行するのは難しく、移行段階で久喜市・宮代町に業務が引き継がれるおそれが高い。

そこで、平成 34 年の引継ぎまでモデル地区の実証を行い、その結果を久喜市・宮代町に引継ぎ、構成市町で全域化への検討を行ってもらうのが妥当と考えられる。

◆スケジュール案

時期		内容
平成 28 年 9 月～29 年 2 月		答申
平成 28 年度内		<ul style="list-style-type: none"> モデル地区実施方式の検討 モデル地区募集の条件の検討
平成 29 年度	4 月～8 月	<ul style="list-style-type: none"> 現行委託業者への説明 ⇒実証実験の説明及び収入減に対する対応策の調整 現行資源回収登録業者への確認・調整 ⇒モデル地区実証実験の説明及び指定された方式での回収が可能か業者の条件を確認 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル地区実施方式の決定 モデル地区での実証実験に係る要綱作成 久喜市・宮代町担当課への説明
	9 月	<ul style="list-style-type: none"> 久喜市、宮代町における区長会での説明 (宮代町は全体の区長会が 5 月にしか開催されないため、4 エリアの地区連絡会で説明予定)
	9 月～12 月	<ul style="list-style-type: none"> モデル地区募集

平成 29 年度	1月～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> • モデル地区決定 <li style="text-align: center;">↓ • 委託業者との調整（モデル地区内の行政回収停止）・住民説明会（状況に応じて） • 公共施設への資源回収ボックス設置検討 ⇒自治会未加入者への対応。モデル地区外住民にも排出ルートが増えるメリットがある
平成 30 年度～		<ul style="list-style-type: none"> • 実証実験開始
平成 30～33 年度		<ul style="list-style-type: none"> • モデル地区や回収業者からの意見聴取 • 上記意見等を受けての制度の見直し
平成 34 年度		<ul style="list-style-type: none"> • 実証実験結果のとりまとめ <li style="text-align: center;">↓ • 市町への業務引継ぎ